

舗装個別施設計画

令和4年6月

南部町建設課

目 次

1	舗装の現状と課題	
1-1	道路管理の現状.....	1
2	舗装の維持管理基準の基本的な考え方	
2-1	舗装管理の基本方針.....	1
2-2	管理道路の分類.....	1
2-3	管理基準.....	2
2-4	点検方法・点検頻度.....	2
3	計画期間	
3-1	計画期間.....	2
4	優先順位の考え方	
4-1	優先順位の考え方.....	2
5	舗装の状態、対策内容及び実施時期	
5-1	舗装の状態.....	3
5-2	対策内容及び実施時期.....	3
6	計画のフォローアップ	
6-1	計画のフォローアップ.....	3

1 舗装の現状と課題

1-1 管理道路の現状

当町が管理する道路は、一級町道40路線、二級町道51路線、その他町道911路線で構成されており、それぞれの管理延長は表-1のとおりである。

表-1

道路種別	管理延長(m)	舗装延長(m)		舗装率(%)
		A s 舗装	C o 舗装	
一級	90,116	89,021	382	99.2
二級	63,768	62,649	2	98.2
その他	454,649	200,571	6,678	45.6
計	608,533	352,241	7,062	59.0

1-2 課題

舗装してから20年以上経過した路線が多く、クラックやひび割れから進行したポットホールが発生し、局部的な補修を実施している状況である。

特に、幹線道路である一級、二級町道は、交通に与える影響が大きいことから、定期的な点検を実施し修繕計画を策定し計画的な修繕が求められている。

2 舗装の維持管理の基本的な考え方

2-1 舗装管理の基本方針

舗装の個別施設計画の策定にあたっては、優先度を設定するなど診断結果を踏まえた適切かつ効率的な措置を行うことで、舗装の長寿命化や維持管理費のライフサイクルコスト（LCC）縮減を目指す。

2-2 管理道路の分類

一級、二級路線を対象とし、路線の特性や大型車交通量を踏まえ、表-2のとおり設定する。

表-2

分類	対象道路
分類C	緊急輸送道路、民間路線バス路線、大型トラックなどの物流交通が多く見受けられる路線
分類D	上記以外の路線

2-3 管理基準

国土交通省道路局「舗装点検要領」（平成28年10月策定）に目安として示されている値を参考とし、表-3のとおり設定する。ひび割れ率、わだち掘れ量のうちどちらか一方でも基準値を上回る場合には、修繕が必要と判断する。

表-3

診断区分	ひび割れ率	わだち掘れ量	路盤の損傷
I（健全）	0～20%	0～20mm	—
II（表層機能保持段階）	20～40%	20～40mm	—
III（修繕段階）	40%以上	40mm 以上	III-1 なし III-2 あり

※ひび割れ率が40%以上に達しかつ、わだち掘れも発生している（亀甲状ひび割れを伴う沈下）箇所は、路盤が損傷し支持力の低下した状態と考えられる。

2-4 点検方法・点検頻度

点検方法及び点検頻度について、表-4のとおり設定する。すべての分類において、道路パトロールを通じた路面状況を目視により把握する。

表-4

分類	点検方法	点検頻度
一級町道	舗装点検要領（平成28年10月 国土交通省道路局）	5年に1度
二級町道		パトロールを通じた路面 状況の把握

3 計画期間

当計画の計画期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とする。

4 対策の優先順位

道路パトロールによって得られた路面の診断結果や下記に示す道路特性や利用形態等の路線の重要度を考慮して、対策の優先順位を決定する。

- ① 緊急輸送道路
- ② バス路線
- ③ 沿道の利用形態に応じた道路

5 舗装の状態、対策内容及び実施時期

5-1 舗装の状態

点検した路線の診断結果に基づく舗装の状態は、表一5のとおりである。

表一5

分類	区分Ⅰ (m)	区分Ⅱ (m)	区分Ⅲ-1 (m)	区分Ⅲ-2 (m)
分類C	16,171	50	300	—
分類D	30,655	98,507	2,000	6,200

※区分Ⅰ：健全

区分Ⅱ：表層機能保持段階

区分Ⅲ-1：表層等修繕

区分Ⅲ-2：路盤打換等

対策必要箇所

5-2 対策内容及び実施時期

対策内容は、診断区分Ⅲ-1 の区間については、表層の打換え及びクラック抑制対策による修繕、診断区分Ⅲ-2 の区間については、路盤の打換えまたは路上路盤再生による修繕を実施する。

なお、修繕の実施にあたっては、舗装点検要領に記載されているように該当する区間のうち必要箇所を抽出し、詳細調査を実施したうえで断面の検討を行う。修繕断面の検討は、設計条件及び必要等値換算厚、経済性を考慮し決定する。表層に用いるアスファルト混合物については、使用箇所に必要な対策を検討し要求される性能を満足するものを選定する。適切な修繕断面とすることにより修繕の間隔を伸ばし、長寿命化・ライフサイクルコストの削減に向けた効率的な修繕の実施に努める。

実施時期は、舗装の状況や財政状況を考慮し、令和4年度から5箇年で計画的に実施していく。

対策実施路線及び箇所については、別表及び別図のとおり。

6 計画のフォローアップ

定期的（5年に1回を標準とする）に、工事実施状況を整理し、今後想定される対策費用及び財源等を考慮し、必要に応じて計画の見直しを行う。

別表 対策実施路線一覧

等級	路線No.	路線名	分類	舗装の種類	点検実施時期	診断結果	場所			延長(m)	措置内容	実施時期
1	3	剣吉山・天魔平線	D	AS	R4.6月	Ⅲ-2	剣吉字下山	～	斗賀字石塚	700	路盤等打ち換え	令和5年度以降
1	16	剣吉停車場線	C	AS	R4.6月	Ⅲ-1	剣吉字大坊			300	舗装打ち換え	令和5年度以降
1	18	如来堂・五日市線	D	AS	R4.6月	Ⅲ-1	下名久井字鍛冶長根	～	下名久井字五日市	300	舗装打ち換え	令和5年度以降
1	21	法光寺・平線	D	AS	R4.6月	Ⅲ-2	平字姥懐	～	平字田中平	2,500	路盤等打ち換え	令和5年度以降
1	22	五日市・助川線	D	AS	R4.6月	Ⅲ-2	下名久井字在家	～	下名久井字助川	3,000	路盤等打ち換え	実施中～令和8年度
1	25	日渡・青鹿長根線	D	AS	R4.6月	Ⅲ-1	鳥舌内字内川			1,000	舗装打ち換え	令和5年度以降
1	26	法光寺・作和線	D	AS	R4.6月	Ⅲ-1	鳥舌内字水上	～	鳥舌内字作和	700	舗装打ち換え	令和5年度以降

別図 対策実施路線位置図

